

基本情報

指標番号

3313

名称

周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下手術）

分母

胃全摘術（開腹/腹腔鏡下）が行われた症例

分子

手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標群

周術期抗菌薬予防投与

意義

周術期抗菌薬の適切な使用（薬剤種類：CEZ 又は SBT/ABPC）をみるプロセス指標

年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

レセ電コード	名称	Kコード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
150166110	胃全摘術（単純全摘術）	K6571	○	○	○	○	○	○	○
150168110	胃全摘術（悪性腫瘍手術）	K6572	○	○	○	○	○	○	○
150429010	胃全摘術（悪性腫瘍手術） （空腸囊作製術を伴うもの）	K6573							○
150323610	腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術）	K657-21	○	○	○	○	○	○	○
150323710	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）	K657-22	○	○	○	○	○	○	○
150407010	腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術）（内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合）	K657-21					○	○	○
150407110	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）（内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合）	K657-22					○	○	○

レセ電コード	名称	Kコード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
150429110	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）（空腸嚢作製術を伴うもの）	K657-23							○
150407110	腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	K657-24							○

3. このうち、手術実施日の前日（手術日-1）に抗菌薬（注射薬抗菌薬）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
616[1/9][4/5/6]**	主として抗酸菌に作用するもの	注射	○	○	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○	○	○

4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZ又はSBT/ABPCが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

薬価基準コード7桁	成分名	推奨抗菌薬	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
6132401	セファゾリンナトリウム	CEZ			○	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム水和物	CEZ	○	○	○	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	SBT/ABPC	○	○	○	○	○	○	○

その他

薬剤一覧の出力

はい

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

%

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。
2. 抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
3. 本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
4. SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。
5. CEZの供給停止(2019年ごろ)がQI値に影響する可能性がある、代替薬として厚生労働省より通知があり、下記にリンクを添付

参考資料

参考値

参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/ 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 厚生労働省健康局結核感染症課・医政局経済課からの通知(平成31年3月29日)
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000498133.pdf>